

頸動脈ステント留置術を受けられる患者様へ

患者氏名 @PATIENTNAME 様 (ID: @PATIENTID) 生年月日: @PATIENTBIRTH_西暦年月日 性別: @PATIENTSEXN 説明日: 説明者:

	1 日目	2 日目		3 日目	4 日目	5～6 日目	7 日目
	入院時	術前	術後	術後 1 日目	術後 2 日目	術後 3～4 日目	退院当日
食事	減塩食を召し上がって下さい。	朝から飲んだり食べたりすることは出来ません。		昼から食事が開始になります。 減塩食を召し上がって下さい。			
安静 清潔	特に制限はありません。	特に制限はありません。	ベッド上で安静にして下さい。 検査後8時間までは穿刺部を曲げたりしてはいけません。 ☆足から手術した場合 8時間過ぎたらベッド上で寝返り出来ます。 ☆腕から手術した場合 6時間過ぎたら固定していた圧迫固定器具を外すことが出来ます。 ※必要時、安静を守るため行動制限をさせて頂くことがあります。	主治医の許可が出たら車いす乗車することが出来ます。 10時頃看護師が圧迫していたテープをはがし、穿刺部位を消毒します。 体をタオルで拭くことが出来ます。	主治医の許可が出たら歩行することが出来ます。初めて歩行する時は看護師が付き添います。	シャワーに入ることが出来ます。 	
検査	体温、血圧、脈拍を測りに伺います。両足の甲、もしくは両手首の動脈の触れる箇所に目印を書きます。 *アクセサリー、メガネ、コンタクト、時計、入れ歯は全て外します。マニキュア、化粧は落として頂きます。	検査着に着替え、T字帯、弾性ストッキングを着用して頂きます。 時間になりましたら、ベッドで検査室へ行きます。	手術後1時間毎に6回、その後2時間毎に体温、血圧、脈拍を測りに伺います。 ☆足から手術した場合 検査部位は小さな俵のようなガーゼで圧迫し、太いテープで固定します。 ☆腕から手術した場合 腕に透明の圧迫固定器具を装着します。 手術後はI C UまたはHCUに入室します。	頭のCT・MRIの検査、胸と首のレントゲン検査、採血を行います。 主治医の許可が出たらI C UまたはHCUから一般病棟へ転棟します。			
内服	普段内服している薬を継続するか、入院時に確認します。看護師が入院中は管理します。						
点滴	入院後夕方に点滴の針を入れ点滴を開始します。 					6日目の10時に看護師が点滴の針を抜きます。	
その他	看護師が手術前後の処置と安静について説明します。		手術後、医師からご家族へ手術の結果についての説明があります。			前日に退院について看護師が説明します。	問題がなければ午前中に退院となります。

状況に応じて予定が変更になる場合がございます。ご不明な点などありましたらお気軽にお尋ね下さい。

東京歯科大学市川総合病院 2018.7.5